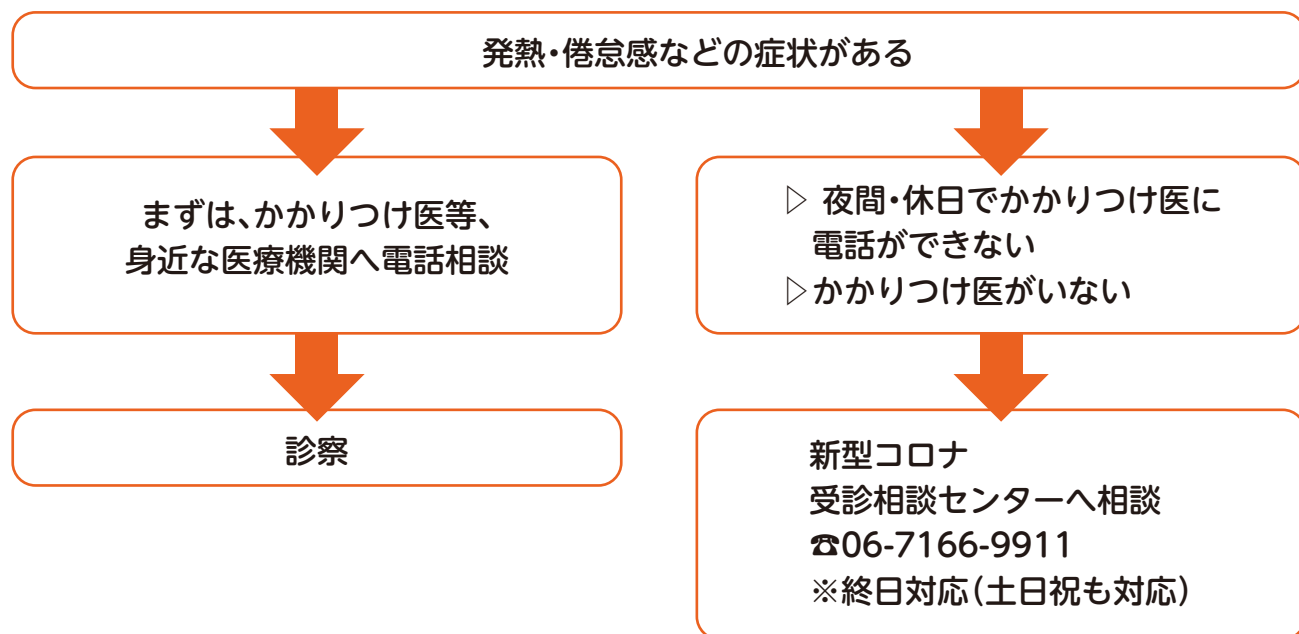


新型コロナウイルス感染症を疑う場合の受診相談体制が変わりました

☎健康増進課 ☎893-6405

新型コロナウイルス感染症が疑われる場合、以前はかかりつけ医の有無に関わらず新型コロナ受診相談センターへ相談をするとしていましたが、受診相談体制が次の図のように変更になりました。



- ▷ 発熱・倦怠感などの症状を事前にかかりつけ医などの身近な医療機関に電話で伝えてください。
- ▷ 医療機関を受診する際にはマスクを着用して、公共交通機関等の利用は可能な限り避けてください。
- ▷ 発熱などのかぜ症状がある場合には、仕事や学校は休んで、不要不急の外出は控えてください。

その他の相談窓口

- ▷ 大阪府健康相談窓口 ☎06-6944-8197(9:00~18:00 土日祝も対応)
- ▷ 厚生労働省相談窓口 ☎0120-565653(9:00~21:00 土日祝も対応)

休日急病診療所の診療体制

☎休日急病診療所 ☎891-8124

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、診療体制が変わっています。受診の際は、内科・小児科・歯科のいずれも、必ず事前に電話連絡の上、マスクを着用してお越しください。個別に来所時間をご案内します。また、来所の際は診療所入口のインターホンを鳴らしてください。スタッフが対応します。

なお、休日急病診療所は、応急的な治療を行うところです。原則、インフルエンザ以外の検査は行いません。また、処方薬は抗インフルエンザ薬を除いて、原則休日分のみとなります。休日急病診療所を受診した人は、休み明けにかかりつけ医を受診しましょう。

内科・小児科	10:00~11:30(電話受付11:00まで)	解熱鎮痛剤を服用せず体温37.5℃未満の人
	12:00~14:00(電話受付13:30まで)	体温37.5℃以上、解熱鎮痛剤服用者
歯科	10:00~12:00(電話受付11:30まで)	

※令和2年12月1日現在の診療時間です。感染症の流行状況により、診療時間が変更になる可能性があるため、電話等で予約受付時間を確認の上、必ず事前予約の電話をしてください。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で注意力が低下する。また、聴覚が鈍磨し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、例えば深夜のはしご酒では、昼間の通常の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- また大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケや野外のバーベキューでの事例が確認されている。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用施設での事例が確認されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での事例が確認されている。車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



感染リスクが高まる行動を避け、感染拡大を防ぐ行動にご協力ください